

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	肝胆膵悪性腫瘍の癌微小環境におけるエクソソーム機能解析および予後の検討		
1. 研究の目的と方法	肝胆膵悪性腫瘍の発生・増殖・浸潤にかかわるメカニズムとして細胞外小胞（エクソソーム）が注目されています。本研究では肝胆膵悪性腫瘍で切除を行った患者さんを対象とし、腫瘍微小環境における腫瘍免疫や治療抵抗性と関わるエクソソームの役割を検討致します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年4月30日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	20歳以上で肝胆膵悪性腫瘍（肝細胞癌、肝内胆管癌、転移性肝癌、その他の肝腫瘍、胆管癌、膵臓癌、その他の膵腫瘍）の患者さんで、上記研究機関で2019年3月1日から2024年1月31日の間に切除を施行し、慈恵医大腫瘍センターバイオバンクプロジェクトで同意を頂き組織が保管されており、二次利用の同意が得られている方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	手術の時に切除した組織	
	(2) 試料の取得の方法	手術時に採取された腫瘍組織、腫瘍周囲正常組織（がんに対する診断・治療・予防法の開発：慈恵医大腫瘍センターバイオバンクプロジェクトで同意を頂き保管されており二次利用の同意が得られているもの）。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、身体所見、既往歴、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、診療録、手術録、術後合併症、免疫組織学的評価、分子生物学的解析、エクソソーム解析、再発・予後。	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 外科学講座
		氏名	春木 孝一郎
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 外科学講座 宇和川 匡	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始日：2022年7月～</p>
<p><b>【問い合わせ先】</b></p>	<p>東京慈恵会医科大学 外科学講座 研究責任者：助教 春木 孝一郎（はるき こういちろう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3401） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。